

医療機関や職能団体が定める独自様式 (医師・看護師・リハビリ・施設)

* 入退院に関わる多職種が情報連携を行う際に、医療機関や職能団体によっては、独自の様式を定めていることがある。現在使用している様式を使用しながら、よりよい情報共有を行うために作業部会で意見交換し、推奨するポイントをまとめた。参考にして頂ければ幸いである。

* 独自に定める様式の一例

様式名	連携		目的・用途
	発信者	受信者	
診療情報提供書	主治医	他の医師	担当患者の診療情報を提供するため
薬剤管理サマリー	病院	かかりつけ薬局	入院患者の服薬情報を照会するため
リハビリ紹介状	リハビリ職員	リハビリ職員 (多職種にも共有)	療法士間でリハビリ支援経過について情報提供するため
看護サマリー	病院看護師 または 訪問看護師 施設看護師	訪問看護師 施設看護師 または 病院看護師	サマリーとは「要約」「まとめ」のこと 入退院時の看看連携のために作成される 病状経過、療養環境、継続課題について情報共有する

【推奨項目】

● 診療情報提供書

診断名、既往歴、症状、治療経過、現在の処方、検査結果、留意事項（アレルギー等）

● 薬剤管理サマリー 安城市薬剤師会推奨

日本病院薬剤師会作成 薬剤管理サマリー（改訂版）に準拠する内容



薬剤管理サマリー様式
QRコード

● リハビリ紹介状（サマリー） ※安城地域リハビリネットワークの推奨項目

- 個人・環境因子：パーソナリティ、家族構成、家庭内役割 など
- リスク管理：転倒歴、呼吸循環、栄養状態、危険行動、食形態 など
- 機能評価／治療経過
- その他：提供単位数 ○単位／日 など

● 看護サマリー サマリーとは「要約」「まとめ」のこと

看護サマリーにおける共通項目

基本情報：氏名、年齢、性別、生年月日、電話番号、入院日・退院日、連絡先、主治医、
家族のサポートの有無、キーパーソン

医学的情報：現病歴、アレルギーの有無、既往歴、感染症の有無、
薬剤禁忌の有無、経過（在宅・病院・施設）、医療処置・管理、病気への告知の有無、服薬状況

ケア情報：食事（食形態、介助の有無や見守りの有無、咀嚼や嚥下状態、とろみの状況など）
移動、基本動作、整容、清潔、歩行、階段昇降、更衣、排せつ、睡眠、行動制限等
ADLの状況

「意思決定支援」に関する情報

病気や治療に対する本人・家族の受け止め方・意向、望む医療と療養環境

継続課題：申し送りたい内容を簡潔にまとめる

※訪問看護から病院宛ての看護サマリーには、介護サービス利用状況と関連職種、住宅環境、退院時に期待する状態（例：トイレに行ける状態、階段を登れる状態等）を記載する

※FAX送信する場合の宛先は、更生病院は医療福祉相談室、八千代病院は患者支援センター、表紙に利用者の病院IDを記載すること

* その他病院との連携に必要な書類

- 医療介護連絡票
- その他連絡票
- 軽度者に係る福祉用具貸与費の例外給付について
様式はサルビー見守りネット 様式に掲載



サルビー見守りネット 様式
QRコード